

「Earth Day」(アースデイ：地球の日)

明後日4月22日は、地球環境について考える日として提案された記念日「アースデイ」です。別名「地球の日」とも言われています。アースデイは、1970年、アメリカの上院議員であったゲイロード・ネルソン氏によって提唱されました。日本でも「地球のことを考えて行動しよう」というテーマで、毎年4月には、様々な環境イベントが開催されています。



私たち人間が、地球の恵みのお陰で生かされていること、それにも関わらず様々な悪影響を地球に及ぼし続けていることは、日頃、なかなか実感しにくいことかもしれません。

アースデイは最初、10年ごとに開催されていましたが、1990年の世界に向けた参加の呼びかけ以後、90年代は「地球環境の10年」と位置づけられ、毎年開催されることとなりました。1990年の呼びかけでは、141の国や地域で2億人が参加し、日本でも全国200カ所で、1,000以上のグループがシンポジウム、ごみ拾い、フリーマーケットなどが開催されました。アースデイは、市民が自由な発想でエコロジー行動を行うもので、決まった形式や規則などはなく、「やってみた日、それがあなたのアースデイです」がキャッチフレーズになっており、一人一人ができることから参画できるようになっています。現在、アースデイは、約180カ国で開催されています。



大いなる地球に思いを馳せつつ、水道の蛇口のひねりを浅くしたり、ゴミを減らす工夫をしたりするなど、何か一つでも具体的な実践に取り組んでみませんか。

トイレの張り紙 「心穏やかに的を外さず」

春の週末、ドライブで立ち寄った道の駅で、トイレの張り紙に目が留まりました。「トイレの中まで失礼します。いつもキレイにご利用いただき、ありがとうございます。心穏やかに的を外さず」。思わず笑ってしまいました。「汚さないでください」といった禁止用語を使用せず、ウィットに富んだ言葉が並び、誰も不快にさせずに行動を促す表現に感動しました。相手の行動を受け止め、感謝の気持ちにユーモアを添えると、場の雰囲気を和ませてくれます。強制的に行動を促されて嫌々取り組むよりも、楽しく喜んで生活したいものです。人をその気にさせる秘訣は、ちょっとした工夫にありますね。

